

美保飛行場周辺 まちづくり基本計画(案)

この基本計画(案)は、学識経験者と各関係団体の代表者で構成する
「美保飛行場周辺まちづくり計画検討委員会」において、平成26年度
に策定した「まちづくり構想」の基本理念等を踏まえてご議論いただき、この
たび取りまとめたところです。

美保飛行場周辺まちづくり基本計画 市民説明会
平成28年2月18日(木)午後7時～市民会館大会議室

市民会館ホールの耐震診断

- 平成25年度に耐震診断を実施

Is値* (構造耐震指標) **0.10**



⇒平成25年12月12日～ホール部分使用停止

【Is値 (構造耐震指標)】

$Is < 0.3$	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が <u>高い</u>
$0.3 \leq Is < 0.6$	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が <u>ある</u>
$0.6 \leq Is$	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が <u>低い</u>

【市民会館のあり方】

市民の意見を聴く会 ・ 意見募集

●市民の意見を聴く会 (H26.2.27)

- ・同規模(約1,100席)の施設が必要
- ・800席くらいが妥当
- ・図書館、美術館、防災機能を有した施設 など

●意見募集 (H26.3.1～3.31)

- ・ホールと図書館の複合施設
- ・防災拠点として避難場所、設備の充実
- ・駐車場スペースの確保 など

⇒「市民の文化・交流の拠点」+「防災拠点」+「その他」=複合施設

<課題>

- ①財源(莫大な費用の捻出)
- ②市民に有益な方向性の検討

補助事業の検討

●防衛省補助事業

まちづくり構想策定支援事業・まちづくり支援事業

★採択の要件(抜粋)

防衛施設が存在するという地域の特徴を活用し、
自衛隊員等と防衛施設の周辺地域の住民との文化の交流又は
地域における防災等のための活動の促進を企図したまちづくり

★補助率

90%(基本構想、基本計画), 75%(設計、工事)

<課題 ②市民に有益な方向性の検討>

検討委員会の設置

●美保飛行場周辺まちづくり計画検討委員会

(学識経験者と各関係団体の代表者で構成:13人)

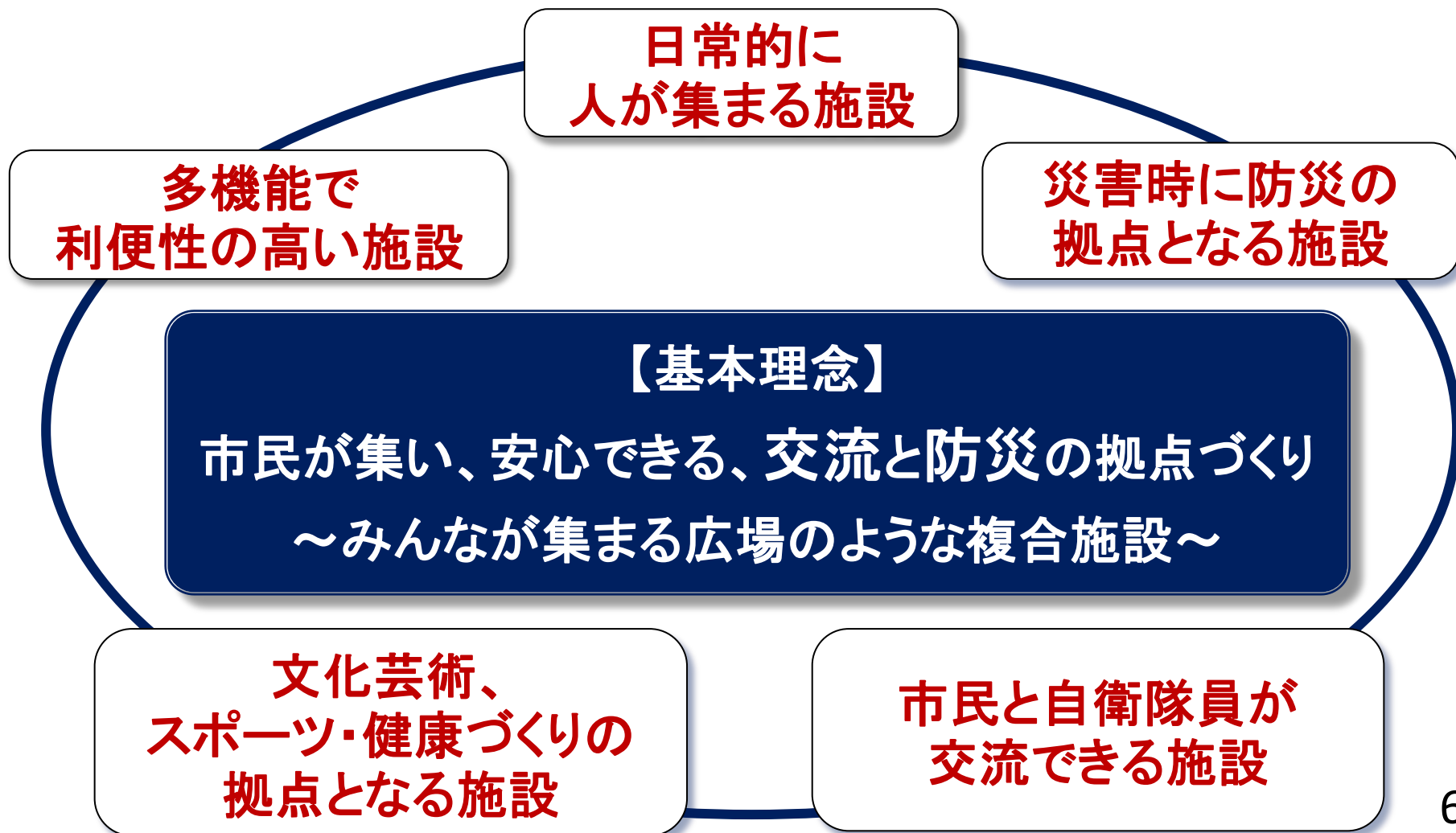
◇平成26年度に、
5回の検討委員会を開催し、
また、視察研修も行って
「**構想**」を取りまとめました。

◇平成27年度に、
これまで4回の検討委員会を
開催し、「**基本計画**」の策定
に向け審議しています。



【構 想】

基本理念



【構 想】

対象エリアの選定

【対象エリア】

- ①市民会館周辺エリア
- ②竜ヶ山公園周辺エリア

【エリア選定の主な背景】

- ◆市役所の災害対策本部機能の確保
- ◆市内最大規模の避難所「市民会館」の使用停止
- ◆人口急増の夕日ヶ丘に避難施設を確保
- ◆大規模災害時の応援部隊の宿营地整備が必要



【構 想】

対象エリアの役割

市民会館周辺エリア

<交流拠点>

(施設の複合化による交流拠点)

- ホールを活用した交流
- 図書館を活用した交流
- 会議、美術展示における交流
- 高齢者福祉活動における交流

<防災拠点>

(災害対策と復興活動の拠点)

- 災害時の拠点(本部)
- 周辺住民の避難場所
- 災害ボランティアの活動拠点
- 防災備蓄室(分散備蓄)の整備

竜ヶ山公園周辺エリア

<交流拠点>

(公園と一体となった交流拠点)

- 体育館を活用した交流
- 屋根付き広場を活用した交流
- ※公園と一体となったスポーツ・健康づくりを通じた交流の拠点

<防災拠点>

(支援活動の拠点)

- 自衛隊部隊の活動拠点
- 周辺住民の避難場所
- 支援物資の保管、輸送拠点
- 防災備蓄室(分散備蓄)の整備

【構 想】

エリアに求められる機能

市民会館周辺エリア

機能の
複合化

交流・防
災拠点

文化・芸
術拠点

■導入機能

- ◆ホール・音楽機能
- ◆図書館機能
- ◆防災拠点機能
- ◆高齢者福祉機能
- ◆会議室・美術展示機能
- ◆その他（交流）機能

竜ヶ山公園周辺エリア

機能の
複合化

交流・防
災拠点

スポーツ・
健康づくり

■導入機能

- ◆体育館（備蓄機能）
- ◆屋根付き広場
- ◆駐車場（宿営機能）

美保飛行場周辺 まちづくり基本計画(案)

＜基本計画策定の目的＞

当事業の基本理念である「市民が集い、安心できる、交流と防災の拠点づくり～みんなが集まる広場のような複合施設～」の実現を図るため、構想で盛り込んだ導入機能について、具体的な「内容」や「規模」、「活用方法」を決定し、今後の基本設計、実施設計につなげていくものです。

【基本計画】

①ホール・音楽機能(市民会館周辺エリア)

<施設整備計画の検討>

区分	規模・内容	面積(m ²)
客席	○席数 800席程度 1階 450席程度(可動席) 2階 350席程度(固定席) ※多目的スペースの面積は、約600m ² を想定	800
	○客席後部に舞台設備を操作する調整・調光室を整備	100
	○親子観覧室(5組程度)を客席後方に整備	20
舞台	○間口15m 幅30m 奥行15m ○プロセニウム(※)形式を採用 ※舞台と客席を額縁で明確に区画するもの ○音響反射板を設け、音楽利用に配慮	450
楽屋、リハーサル室	○楽屋70m ² 、リハーサル室100m ² ※多目的ホールの設計資料(日本建築学会)を参考	170
その他	○ロビー ○ホワイエ ○出演者用トイレ・シャワー ○ピアノ庫 ○倉庫 ○搬入口 ○観客トイレなど	1,160
合計		2,700

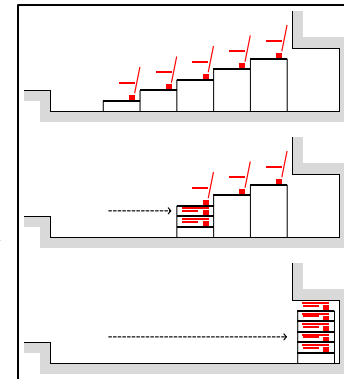
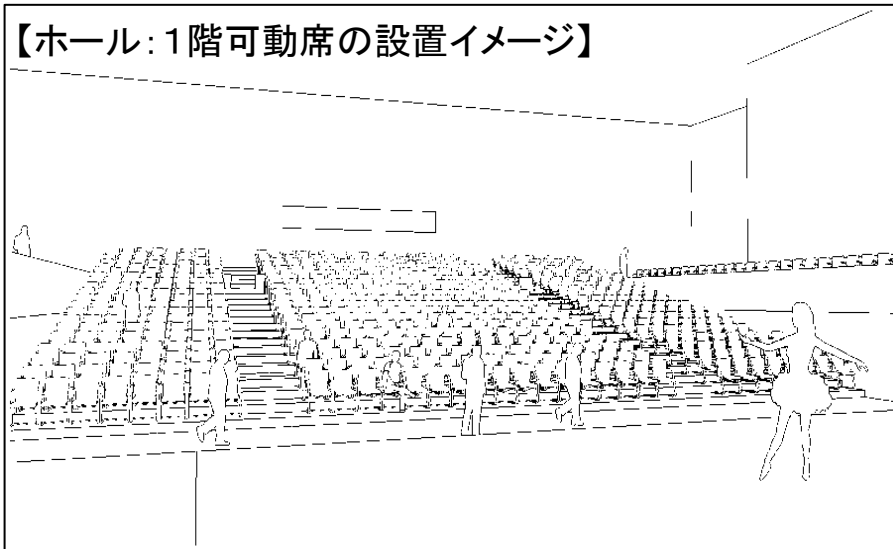
・過去の利用状況(400~799席が一番多い)
・人口推計による人口減少
・維持管理の財政負担

【基本計画】

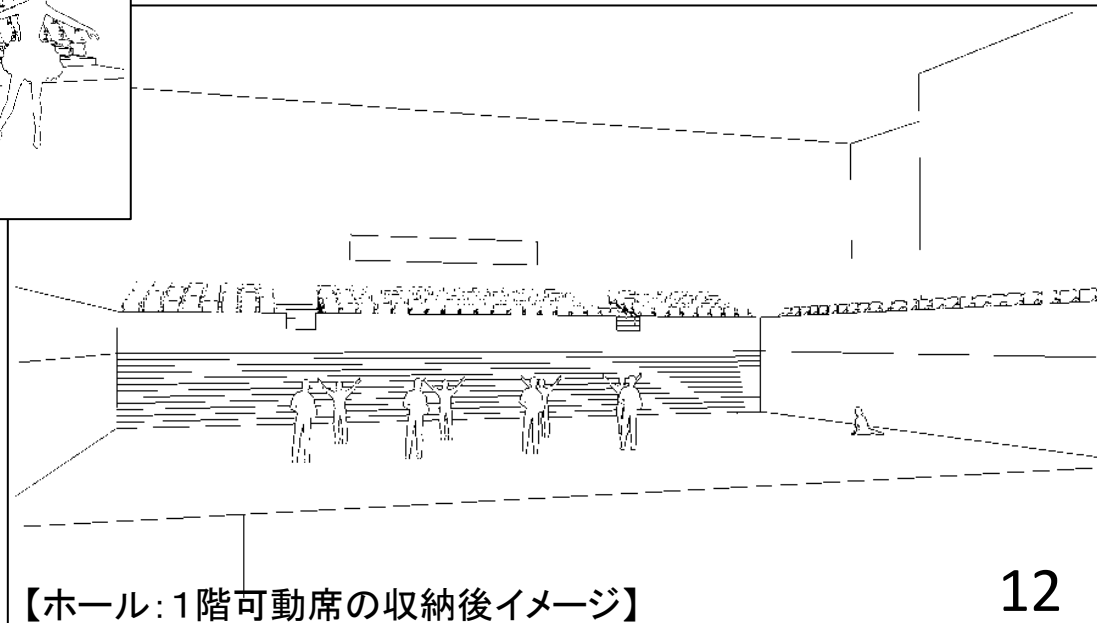
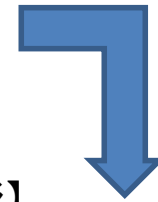
①ホール・音楽機能(市民会館周辺エリア)

＜施設整備計画の検討＞

【ホール: 1階可動席の設置イメージ】



【可動席の収納イメージ】



【ホール: 1階可動席の収納後イメージ】

【基本計画】

①ホール・音楽機能(市民会館周辺エリア)

<導入機能の利用計画>

平常時の活用方法	災害時の活用方法
<ul style="list-style-type: none">○各種演芸大会○各種鑑賞(コンサート、映画、演劇、ミュージカル等)○部活動練習(学校祭、吹奏楽発表会、ダンス等)○小・中学校連合の音楽祭○ことぶき文化祭 <p><多目的スペースの活用></p> <ul style="list-style-type: none">○小・中学生の作品展示○高齢者の介護予防等の運動○選挙の開票所	<ul style="list-style-type: none">○ステージでの災害対策業務○客席での一時避難 <p><多目的スペースの活用></p> <ul style="list-style-type: none">○災害時の避難所○原子力災害時一時避難所○災害ボランティア活動拠点○支援物資集配所

<市民と自衛隊員との交流促進の方策>

- ◆ふれあいコンサート等に合わせて地元中高生等への演奏指導、音楽教室を開催
- ◆自衛隊活動(災害派遣等)の報告・講演会の開催。
- ◆市民余芸大会、文化のつどい、サロンコンサート等に自衛隊内のクラブ活動等から出演してもらう。
- ◆自衛隊艦船の寄港時における歓迎レセプション会場(南極観測船しらせ等)

【基本計画】

②図書館機能(市民会館周辺エリア)

<施設整備計画の検討>

区分	規模・内容	面積(m ²)
開架スペース	○開架 10万冊程度 ○自衛隊・防災関連図書コーナー ○児童図書コーナー(読み聞かせコーナー)等	960
書庫スペース	○閉架 5万冊程度(日本図書館協会資料参考)	180
荷捌き室	○小・中学校等への図書の搬出入、整理作業等	50
事務室	○館長、司書、市史編纂員の事務・応接スペース	80
文化財倉庫	○空調管理、郷土資料等を長期保管する収蔵庫	100
閲覧室兼学習室	○閲覧及び調べ学習等のスペースとして使用	140
ボランティア室	○読み聞かせボランティア等の準備作業に使用	30
その他	○トイレ、授乳室等	60
合計		1,600

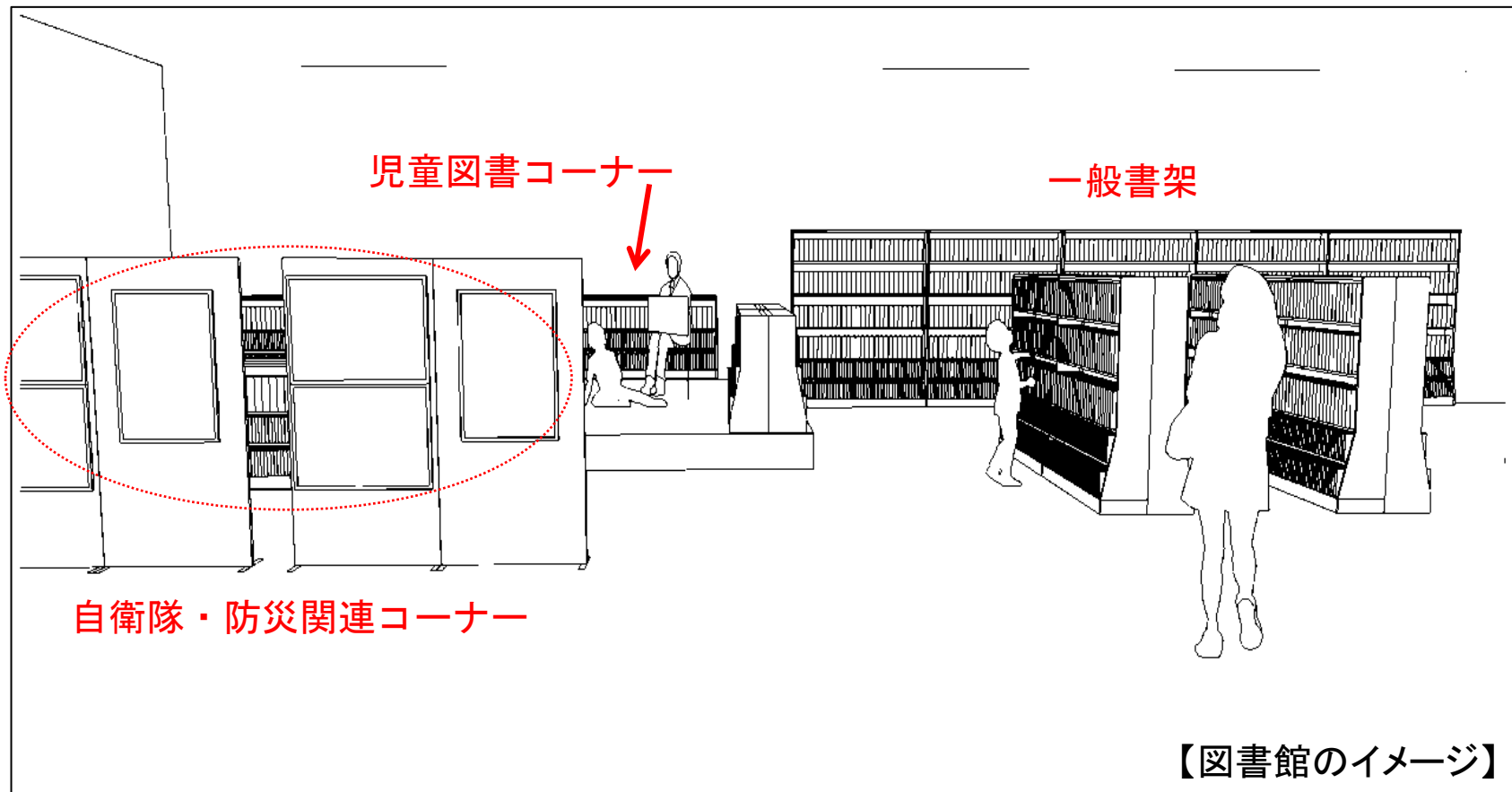
※図書館面積:中国地方の類似団体における平均値(約1,600m²)

※蔵書数:中国地方の類似団体における平均値(約15.1万冊=境港市民図書館の現蔵書数15万冊)

【基本計画】

②図書館機能(市民会館周辺エリア)

＜施設整備計画の検討＞



【基本計画】

②図書館機能(市民会館周辺エリア)

<導入機能の利用計画>

平常時の活用方法	災害時の活用方法
<ul style="list-style-type: none">○図書貸し出し業務○学校図書館支援○各種展示コーナー(ミニギャラリー、境港市の歴史展等)○自衛隊・防災関連図書コーナーとパネル等の設置○市民の学習や企業などへの支援○子育て支援(読み聞かせ、お話会、託児等)○郷土資料の収集、充実○防災教育(防災関連資料の充実)○転入者への暮らしに便利な育児・生活情報の提供	<ul style="list-style-type: none">○避難者の心のケア・支援○インターネット環境を活用した情報収集等

<市民と自衛隊員との交流促進の方策>

- ◆市読書まつりなどで、自衛隊員が直接子供たちに自衛隊活動や災害対策関連の図鑑や本、絵本、紙芝居などを自衛隊服で読み聞かせしてもらう。
- ◆自衛隊活動、災害対策関連図書コーナー、自衛隊活動のパネルの設置
- ◆自衛隊募集パンフレット等の設置
- ◆自衛隊員及びその家族に、暮らしに便利な育児・生活情報を提供
(絵本や生活関連書籍のある図書館は最適。)

【基本計画】

③防災拠点機能(市民会館周辺エリア)

＜施設整備計画の検討＞

区分	規模・内容	面積(m ²)
事務室	○自治防災課執務室	50
倉庫	○災害対応備品等保管	10
会議室	○災害対策本部室 ※本部員10人、事務局5人程度	100
防災無線室	○防災行政無線の運用	10
仮眠室等	○災害時における職員待機・仮眠(2人分)	10
備蓄室	○備蓄物品等の保管	30
合計		210

※災害対策・復興活動の拠点として整備

※各室の面積:総務省地方債庁舎算定基準(人口5万人未満市町村)を参考

【基本計画】

③防災拠点機能(市民会館周辺エリア)

＜導入機能の利用計画＞

平常時の活用方法	災害時の活用方法
<ul style="list-style-type: none">○防災部署の執務室○防災備蓄	<ul style="list-style-type: none">○災害対策本部○災害対策業務の中枢



【災害対策本部訓練時の状況】

【基本計画】

④高齡者福祉機能(市民会館周辺エリア)

＜施設整備計画の検討＞

区分	規模・内容	面積(m ²)
事務室	○施設管理職員4人 高齡者福祉関係8人	85
倉庫	○備品等保管	10
会議室等	○福祉関係者によるケース会議等	70
相談室	○各種相談対応(2室)	15
合計		180

※各室の面積:総務省地方債庁舎算定基準(人口5万人未満市町村)を参考

＜導入機能の利用計画＞

平常時の活用方法	災害時の活用方法
○福祉関係機関の執務室 ○高齡者の各種相談	○被災高齡者の各種相談 ○災害ボランティアの総合支援所

【基本計画】

⑤会議室・美術展示機能(市民会館周辺エリア)

<施設整備計画の検討>

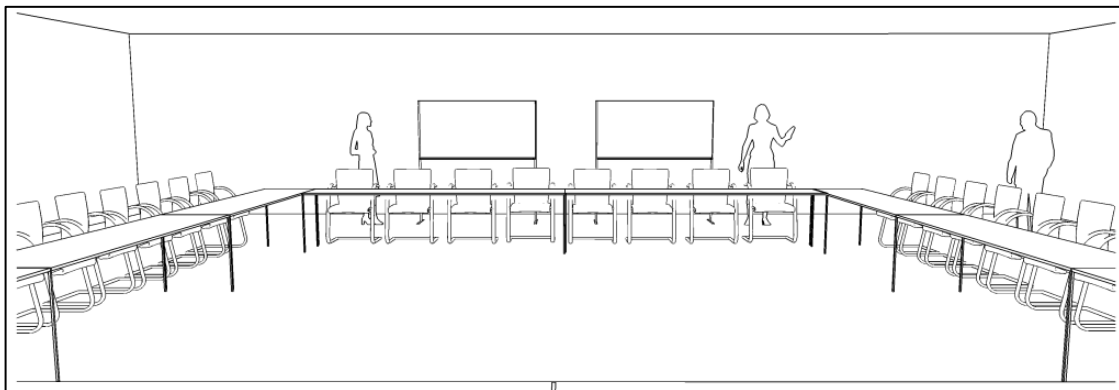
区分	規模・内容	面積(m ²)
大会議室	○現在の大会議室スペースを確保(ステージ含む) ○100人規模の会議等に対応 ○美術展示機能及び可動式間仕切りの設置	260
中会議室	○現在の中央公民館と展示室のスペースを確保 ○50人～80人規模の会議等に対応 ○美術展示機能及び可動式間仕切りの設置	180
小会議室	○現在の第1会議室のスペースを確保 ○30人規模の会議等に対応 ○美術展示機能の設置	100
和室	○現在の和室2号のスペースを確保 ○茶会など40人規模に対応	90
	合計	630

※稼働率の低い特別会議室は廃止し、和室も2室から1室に削減する。

【基本計画】

⑤会議室・美術展示機能(市民会館周辺エリア)

＜施設整備計画の検討＞



【会議室のイメージ】



【会議室での美術展示イメージ】

【基本計画】

⑤会議室・美術展示機能(市民会館周辺エリア)

＜導入機能の利用計画＞

平常時の活用方法	災害時の活用方法
<ul style="list-style-type: none">○各種会議○境港市美術展覧会○境港市文化のつどい○各種講演会 (自衛隊員による災害派遣報告会等)	<ul style="list-style-type: none">○災害ボランティア控室○災害対策関係室○避難所

＜市民と自衛隊員との交流促進の方策＞

- ◆自衛隊員による美術品等の展示会、また、市美術展覧会に自衛隊コーナーを設けて、愛好家同士の文化の交流を促進する。
- ◆自衛隊活動(災害派遣等)の報告、講演、意見交換会で基地や活動への理解の促進と地域住民とのふれあい活動を促進する。
- ◆隊友会、父兄会、防衛協会等の定例会、懇親会等に活用してもらう。
- ◆婚活イベント(自衛隊員と一般市民)により、若年層の交流を促進する。
- ◆入隊激励会とともに市民との交流会を行って、新入隊員を激励する。

【基本計画】

⑥その他(交流)機能(市民会館周辺エリア)

＜施設整備計画の検討＞

区分	規模・内容	面積(m ²)
エントランスホール等	○エントランスホール ○トイレ ○エレベーター ○機械室など	900
カフェ	○日常的な交流の場 ○イベント時の喫茶、待ち合わせ等に活用	100
合計		1,000

【エントランスホールでの展示イメージ】



【基本計画】

⑥その他(交流)機能(市民会館周辺エリア)

<導入機能の利用計画>

平常時の活用方法	災害時の活用方法
<ul style="list-style-type: none">○美術展示等○自衛隊紹介パネルの展示	<ul style="list-style-type: none">○災害時の焚き出し
<p style="text-align: center;"><市民と自衛隊員との交流促進の方策></p> <ul style="list-style-type: none">◆カフェで自衛隊食堂のメニューを再現することで理解を促進する。◆自衛隊関連グッズ(民間製作)の販売コーナーを設けて、親しみやすさと興味を高め、理解を深める。◆自衛隊員との囲碁・将棋等の大会を開催するなど、施設への親近感をもってもらうことで、普段から自衛隊員の憩いの場として活用してもらう。◆全国の自衛隊基地や活動をタッチパネルで表示できる電子パネル等を設置して関心を高める。	

【基本計画】

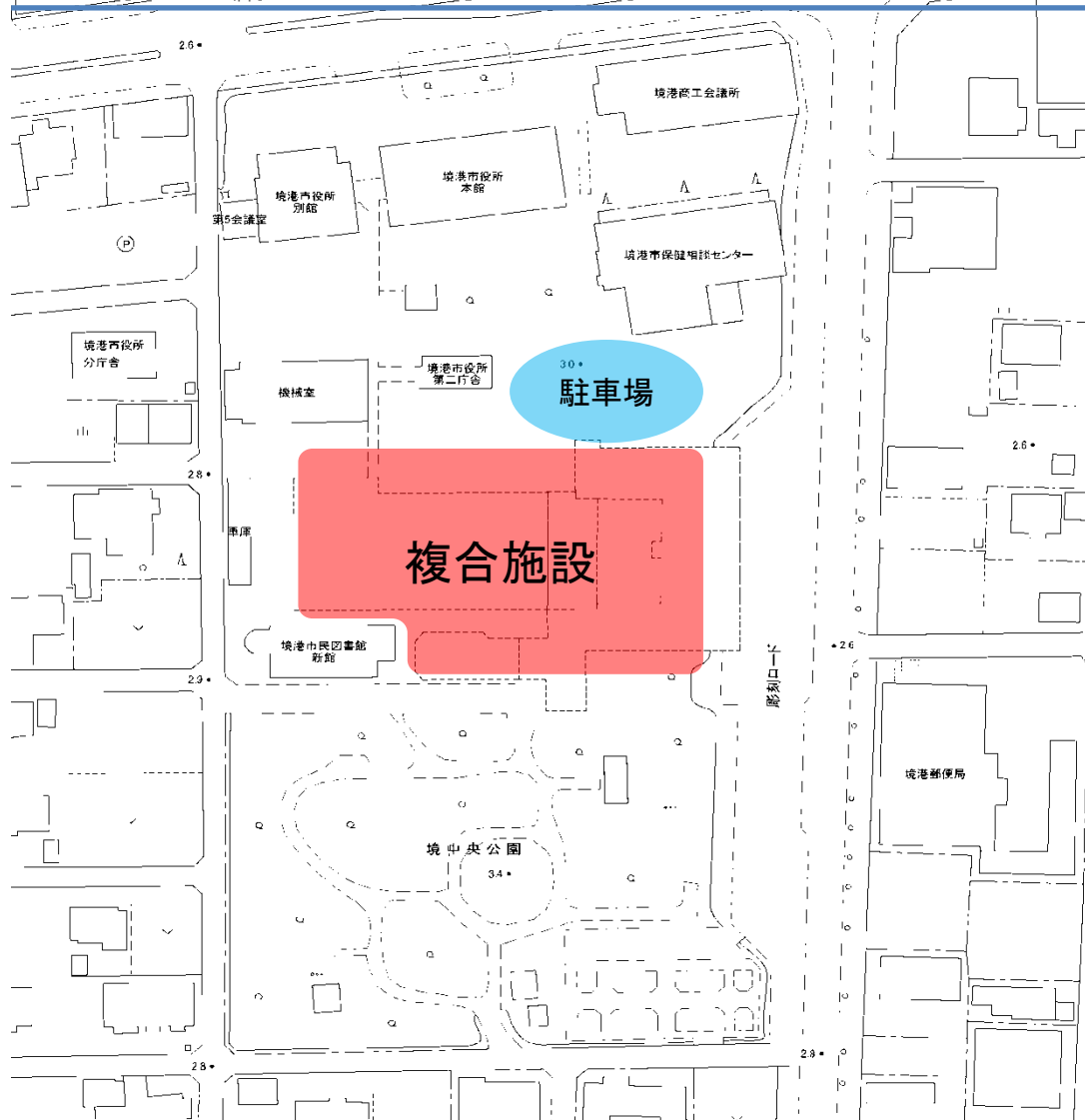
複合施設の一覧(市民会館周辺エリア)

＜施設整備計画の検討＞

区分	内容	面積(m ²)
ホール・ 音楽機能	○客席 ○舞台 ○楽屋・リハーサル室 ○その他(トイレ、通路など)	2,700
図書館機能	○開架スペース ○書庫スペース ○事務室 ○閲覧室兼学習室など	1,600
防災拠点機能	○事務室(執務室) ○災害対策本部室(ミーティングルーム) ○防災無線室 ○備蓄室など	210
高齢者福祉 機能	○事務室 ○ミーティングルーム ○相談室など	180
会議室機能	○大会議室 ○中会議室 ○小会議室 ○和室	630
その他 (交流機能)	○エントランスホール ○カフェ ○機械室 ○その他(トイレ、エレベーターなど)	1,000
	合計	6,320

【基本計画】

複合施設の配置イメージ (市民会館周辺エリア)



【配置計画】

◆周辺道路との関係

来訪者の動線と資機材搬出入等のサービス動線を交差させないよう配慮します。

建設に当たっては、現在の市民会館を解体し、新たな複合施設を配置し、東側道路を主要アプローチ、西側道路をサービスアプローチとします。

◆駐車場の確保

複合施設の建設に当たっては、既存駐車場と職員駐車場を活用しながら、可能な限り駐車場を確保します。

※駐車場の整備は、近隣の公立文化施設では、総席数に対する駐車台数の割合が、概ね10～30%程度の規模となっています。

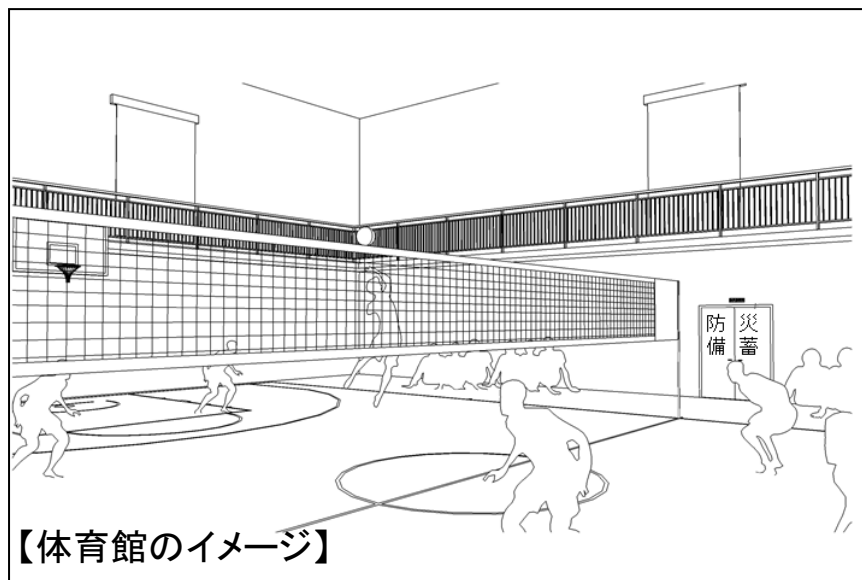
※現状：平日60台、休日260台

【基本計画】

① 体育館 (竜ヶ山公園周辺エリア)

＜施設整備計画の検討＞

区分	規模・内容	面積(㎡)
体育館	<ul style="list-style-type: none">○面積: 32m × 24.5m程度○想定競技種目<ul style="list-style-type: none">・バレーボール(1面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3面)・卓球(4面)など○備蓄室(30㎡程度)	785



【体育館のイメージ】

【基本計画】

①体育館(竜ヶ山公園周辺エリア)

<導入機能の利用計画>

平常時の活用方法	災害時の活用方法
<ul style="list-style-type: none">○各種競技対応 (バレーボール、バスケットボール、 バドミントン、卓球など)○地域のスポーツ行事○高齢者スポーツ大会○雨天時の多目的利用○防災備蓄室	<ul style="list-style-type: none">○自衛隊派遣部隊の事務室○災害時の資機材、支援物資の保管○支援部隊の屋内宿泊施設○住民の避難施設○原子力災害時一時集結所○遺体安置所

<市民と自衛隊員との交流促進の方策>

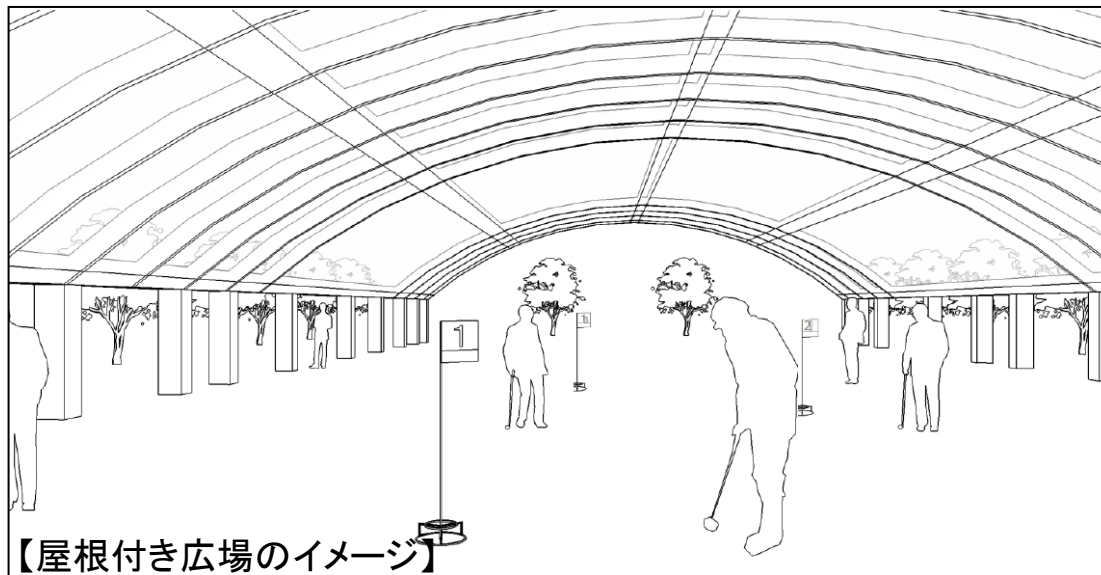
- ◆自衛隊員と地元住民との交流スポーツ大会を開催して地域住民との交流を図る。
(美保基地司令杯等の名称を冠にソフトバレー、フットサル等の大会。)
- ◆武道、スポーツ、ストレッチ体操など、子どもから高齢者まで対象に、自衛隊員の知識や技能を活かした教室等の開催。
- ◆地域の防災訓練における自衛隊員による指導

【基本計画】

②屋根付き広場(竜ヶ山公園周辺エリア)

＜施設整備計画の検討＞

区分	規模・内容	面積(㎡)
屋根付き 広場	○面積 50m×20m程度 ○想定競技種目 ・グラウンドゴルフ ・ゲートボール ・ハンドボール ・フットサル ※各1面 ○雨天時の多目的利用	1,000



【基本計画】

②屋根付き広場(竜ヶ山公園周辺エリア)

＜導入機能の利用計画＞

平常時の活用方法	災害時の活用方法
<ul style="list-style-type: none">○グラウンドゴルフ、ゲートボール、ハンドボール、フットサルなど○雨天時の多目的利用 (陸上、野球、トレーニング等)	<ul style="list-style-type: none">○緊急支援物資の集積所○災害時の資機材、支援物資の仮置き場○支援部隊の炊事場等○住民の避難施設

＜市民と自衛隊員との交流促進の方策＞

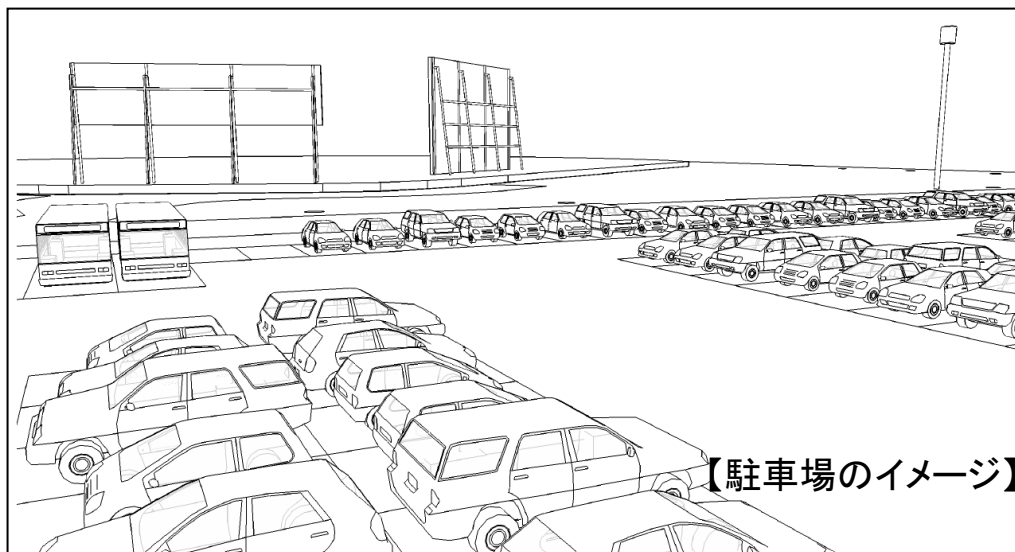
- ◆自衛隊による防災指導、人命救助等イベントの開催
- ◆地元住民と自衛隊員との交流スポーツ大会
(グラウンドゴルフ、ゲートボール等)
- ◆転勤の多い自衛隊家族等に向けてフリーマーケットを開催
- ◆海上自衛隊等への寄港歓迎レセプション会場
(バーベキュー懇親会など)

【基本計画】

③ 駐車場 (竜ヶ山公園周辺エリア)

＜施設整備計画の検討＞

区分	規模・内容	面積(㎡)
駐車場	○自家用車120台程度分と大型バス5台程度分 ○災害派遣部隊の車両約30両程度の受入と宿営地の設置	6,000



【基本計画】

③駐車場(竜ヶ山公園周辺エリア)

<導入機能の利用計画>

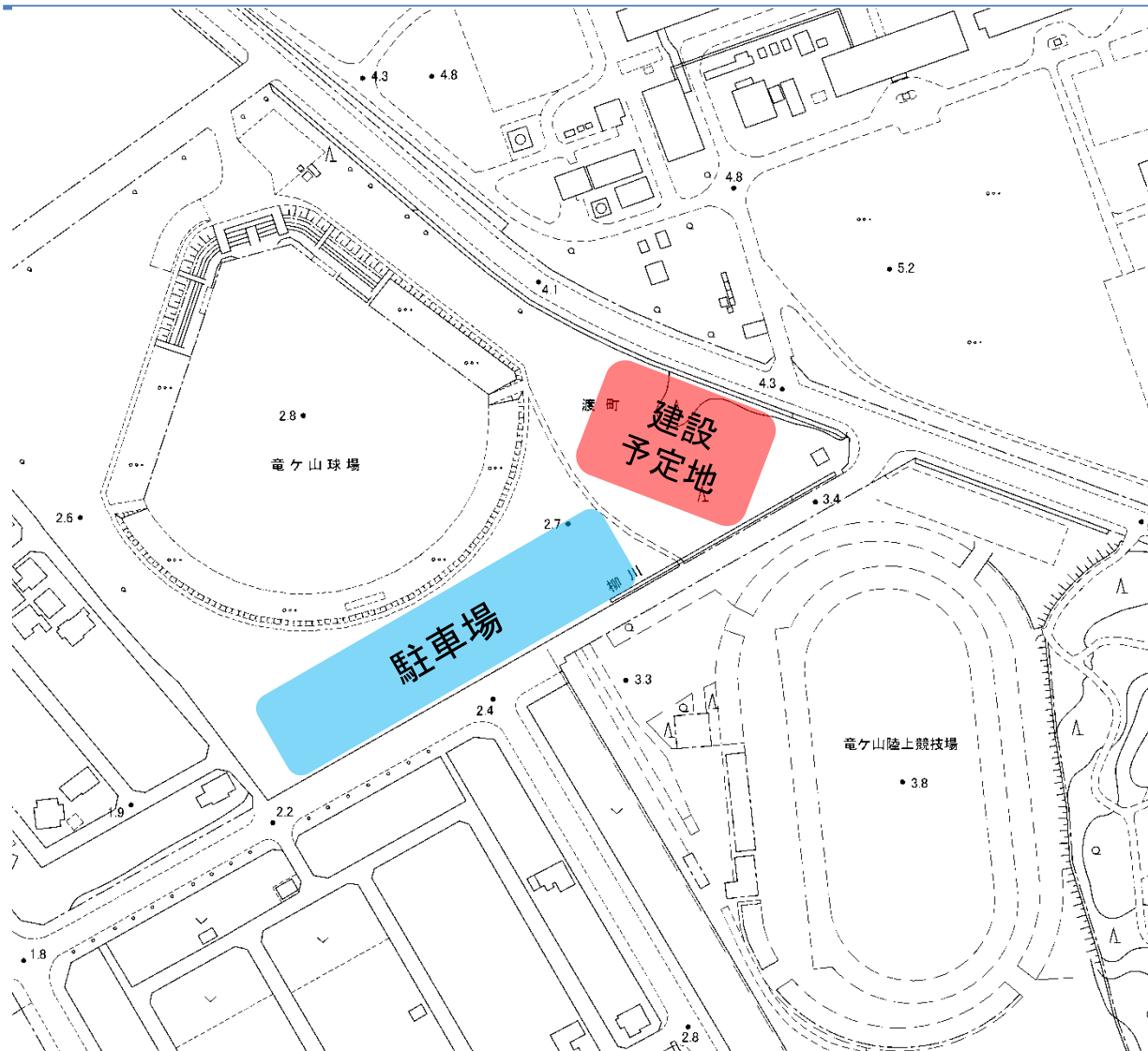
平常時の活用方法	災害時の活用方法
○竜ヶ山公園周辺エリア利用者の駐車場 ○鬼太郎カップ駅伝等各種スポーツ大会等の参加者駐車場	○災害派遣部隊の車両駐車場・宿营地 ○炊事車の展開等

<市民と自衛隊員との交流促進の方策>

- ◆自衛隊車両、防災装備資機材の展示イベントで交流と理解の促進を図る。
- ◆航空祭の臨時駐車場としても活用できる。

【基本計画】

竜ヶ山周辺エリアの施設配置イメージ



【基本計画】

管理運営

<基本方針>

(1) 交流の促進と施設の稼働率の向上

- ・複合施設の利点を生かし、市民の利用と交流を促進します。

(2) 施設の利便性の向上

- ・利用者の視点に立った分かりやすく、使いやすい施設にします。

(3) 効率的な管理運営と維持管理費の縮減

- ・複合施設のメリットを生かし、施設の一元的管理を行うとともに、維持管理費の縮減を図ります。



改めて「**管理運営計画**」を策定します。

<検討課題>

- ・管理形態と管理業務の内容
- ・利用料金の設定
- ・施設の管理運営費の試算 など

【基本計画】

事業計画の検討

＜概算事業費・補助対象経費＞

エリア	項目	区分	細目	数量	単価	金額	備考
				(㎡)	(千円/㎡)	(千円)	
市民会館 周辺エリア	複合施設	設計	基本設計	6,320	—	57,000	(税込)①
			実施設計	6,320	—	148,000	(税込)②
		事務	工事監理	6,320	—	67,000	(税込)③
			工事	複合施設	6,320	550	3,476,000
		免震構造加算		4,850	110	533,500	
		小計				4,009,500	
		計			4,410,000	(税込)④	
竜ヶ山公園 周辺エリア	運動施設	設計	基本・実施設計	1,785	—	46,000	(税込)⑤
		事務	工事監理	1,785	—	15,000	(税込)⑥
		工事	体育館	785	265	208,025	
			屋根付き広場	1,000	150	150,000	
			駐車場	6,000	5	30,000	
			小計			388,025	
		計			427,000	(税込)⑦	
合計:概算						5,170,000	(税込)①～⑦

【消費税】①:8%、その他:10%で算出

【基本計画】

事業計画の検討

＜概算事業費・補助対象外経費＞

エリア	項目	区分	細目	数量	単価	金額	備考
				(㎡)	(千円/㎡)	(千円)	
市民会館 周辺エリア	既存施設 解体	設計	市民会館	6,318	—	10,000	(税込)⑧
			図書館旧館	750	—	2,500	(税込)⑨
		工事	市民会館	6,318	36	227,448	
			図書館旧館	750	36	27,000	
			小計			254,448	
		計			280,000	(税込)⑩	
				合計:概算		293,000	(税込)⑧～⑩

概算事業費の算出にあたり、単価の設定は以下のように行っています。

・設計費は、鳥取県の算定基準により算出

・複合施設の単価は、近年建設された公共ホール等の事例を参考に算出

免震構造を検討し、免震構造分の加算として、建築面積の1.2倍程度の面積×11万円を想定

※ホールは、音響・照明設備、舞台装置、移動客席の機構などの設備により、コストが大きく異なります。

※図書館は、図書館家具や集密書庫、図書館システム等により、コストが大きく異なります。

※将来的な社会情勢の変化により、建設資材や人件費が大きく変動します。

【消費税】⑧、⑨:8%、⑩:10%で算出

【基本計画】

事業計画の検討

＜概算事業費の財源内訳＞

総額：54億63百万円

補助対象経費：51億70百万円

補助対象
外経費

国補助金
(75%)

38億77百万円

市(25%)
12億93百万円

起債
(75%)
9億69百
万円

一般
財源
(25%)
3億24
百万円

市
(100%)

2億93
百万円

この事業は、「防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律」に基づいて整備するもので、総事業費の75%を国からの補助金で賄い、残りの25%を市が負担します。市負担の一部は起債を活用する計画とします。ただし、整備の内容によっては補助対象にならない場合もあり、参考としてイメージを示します。

【基本計画】

事業計画の検討

＜事業スケジュール＞

		平成28～ 29年度	平成30年度～	・	・	・
市民会館 周辺エリア	基本設計					
	実施設計					
	工事着手					
竜ヶ山公園 周辺エリア	事業着手					

市民会館周辺エリアの工事期間は未定です。竜ヶ山公園周辺エリアの基本設計等の事業に着手するのは、市民会館周辺エリアの工事終了後に計画します。
なお、既存の市民会館及び市民図書館旧館は、平成29年度内に解体する計画です。

ご清聴ありがとうございました。